



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東
コード番号 2708 URL <https://www.kuze.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久世 真也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 市川 明夫 (TEL) 03(3987)0018
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,018	9.9	424	△1.5	448	△0.3	624	1.7
2024年3月期第1四半期	15,483	18.5	430	—	449	—	614	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 672百万円(△14.3%) 2024年3月期第1四半期 785百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	134.97	—
2024年3月期第1四半期	132.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	25,891	7,147	27.6
2024年3月期	24,863	6,668	26.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 7,147百万円 2024年3月期 6,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 27円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	4.6	400	△55.9	450	△51.8	580	△53.2	125.37
通期	67,000	3.9	1,400	△24.8	1,450	△25.3	1,300	△35.3	281.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	4,626,327株	2024年3月期	4,626,327株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	51株	2024年3月期	51株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	4,626,276株	2024年3月期1Q	4,626,327株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績の好調により所得環境の改善や設備投資の増加も顕著であり経済の好循環が期待される一方、円安にともなうコスト負担は高まっており、個人消費が減少傾向にあるなど景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場につきましては、仕入コストの上昇や人手不足は続いているものの、法人需要の回復やインバウンドの増加もあり集客面では底堅く推移しました。

当社グループはこのような状況のなか、J F S AのPB商品や簡便調理品の提案に努め、付加価値の向上や人手不足の改善といったお客様の課題解決に尽力してまいりました。合わせてDX化によるお客様の利便性の高いサービスの提供や新規お取引先の開拓を進めました。5月には当社連結子会社である久世(香港)有限公司が所有する、上海日生食品物流有限公司及び久華世(成都)商貿有限公司の持分のそれぞれ80%を国分グループ本社株式会社に譲渡し、両社で協力して中国事業の一層拡大を図っていくことといたしました。また、課題であった物流キャパシティの確保のための準備を進め、新センターを開設する目途もつき、今後の売上拡大のためのインフラ整備を進めました。なお、繰越欠損金が解消しており、法人税等が増加しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は170億18百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は4億24百万円(前年同期比1.5%減)、経常利益は4億48百万円(前年同期比0.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億24百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、法人需要やインバウンドの回復が続いており、また、お客様への提案を強化しました。その結果、売上高は155億64百万円(前年同期比11.0%増)、セグメント利益(営業利益)は6億3百万円(前年同期比17.9%増)となりました。

(食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。当第1四半期連結累計期間においては円安傾向が益々顕著となり、世界的なインフレが進行し仕入コストの上昇が続いている中、原価低減に取り組むとともに価格の適正化を進めました。その結果、売上高は14億29百万円(前年同期比0.7%減)、セグメント利益(営業利益)は84百万円(前年同期比28.7%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は34百万円(前年同期比0.2%減)、セグメント利益(営業利益)は28百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億28百万円増加し、258億91百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が6億56百万円減少し、現金及び預金が14億13百万円、投資有価証券が2億27百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結累計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ5億49百万円増加し、187億44百万円となりました。これは主として未払金が1億53百万円、長期借入金が2億33百万円減少し、支払手形及び買掛金が7億13百万円、賞与引当金が1億71百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結累計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ4億79百万円増加し、71億47百万円となりました。これは主として利益剰余金が4億30百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の26.8%から27.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の業績は順調に推移しておりますが、第2四半期以降の業績につきましては、市況の変化や為替の変動、新センターの稼働状況など不確実な要素もあるため、2025年3月期の業績予想につきましては、第2四半期（累計）、通期とも2024年5月15日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

今後、業績予想の見通しが明らかになった時点で適時開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,506	7,919
受取手形及び売掛金	7,444	6,788
商品及び製品	2,885	2,837
原材料及び貯蔵品	422	466
その他	685	694
貸倒引当金	△21	△18
流動資産合計	17,924	18,688
固定資産		
有形固定資産	3,222	3,256
無形固定資産	232	216
投資その他の資産		
投資有価証券	1,698	1,926
その他	2,005	2,027
貸倒引当金	△220	△223
投資その他の資産合計	3,483	3,730
固定資産合計	6,938	7,203
資産合計	24,863	25,891
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,603	11,316
1年内返済予定の長期借入金	1,097	1,058
未払金	1,331	1,178
未払法人税等	101	98
賞与引当金	319	491
その他	557	499
流動負債合計	14,011	14,643
固定負債		
長期借入金	3,464	3,231
役員退職慰労引当金	253	239
退職給付に係る負債	231	235
資産除去債務	98	99
その他	135	295
固定負債合計	4,182	4,100
負債合計	18,194	18,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	999	999
利益剰余金	4,617	5,047
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,716	6,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734	792
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	205	197
退職給付に係る調整累計額	10	10
その他の包括利益累計額合計	951	1,000
純資産合計	6,668	7,147
負債純資産合計	24,863	25,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	15,483	17,018
売上原価	12,027	13,158
売上総利益	3,456	3,859
販売費及び一般管理費	3,025	3,435
営業利益	430	424
営業外収益		
受取事務手数料	15	22
受取配当金	3	10
その他	24	14
営業外収益合計	43	47
営業外費用		
支払利息	14	12
支払手数料	9	1
その他	0	9
営業外費用合計	24	23
経常利益	449	448
特別利益		
関係会社株式売却益	—	388
国庫補助金	80	—
特別利益合計	80	388
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	11	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純利益	518	837
法人税、住民税及び事業税	82	94
法人税等調整額	△178	117
法人税等合計	△95	212
四半期純利益	614	624
親会社株主に帰属する四半期純利益	614	624

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	614	624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136	58
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	35	△8
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	170	48
四半期包括利益	785	672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	785	672
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	76百万円	108百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,014	1,439	1	15,456	27	15,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	33	37	0	37
計	14,019	1,439	35	15,494	27	15,521
セグメント利益又は損失 (△)	511	118	27	658	△12	645

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	658
「その他」の区分の損失(△)	△12
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△214
四半期連結損益計算書の営業利益	430

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,560	1,429	1	16,991	27	17,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	33	37	0	37
計	15,564	1,429	34	17,028	27	17,055
セグメント利益又は損失 (△)	603	84	28	716	△17	698

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	716
「その他」の区分の損失(△)	△17
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△275
四半期連結損益計算書の営業利益	424

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。